



本年度、第3号の「富士宮市青少年育成センターだより ともしび」です。今回は、富士宮市青少年のスマートフォンの所持や利用の実態についての情報をお届けします。ぜひ、お読みください。

## 第5回 ほっこりタイム

### 『子どもが安心して話せる場を整える ～ 話の聞き方② ～』

家庭が「安心して話せる場」であることは、子どもの健やかな成長を支えます。

うれしい話や楽しい話はもちろん、悩みや不満なども子どもが安心して口にできることが、とても大切です。今回は、話を聞く際に親が意識したいことについて、お伝えしましたね。

その意識に加え、子どもが安心して話せる場を整えるには、次の4つの聞き方が効果的です。

- ◎ 口を閉じて、だまって聞く
- ◎ あいづちを打つ（ふーん、へー、なるほど、等）
- ◎ うながす（良かったら話して、いつでも聞くよ、等）



これらの聞き方は親の受容が伝わるので、子どもは安心して話せるし、気持ちを吐き出せただけでスッキリし、悩みや不満を手放せる場合もあります

#### ◎ 能動的な聞き方

（子どもの思いを分かろうと努力して、“あなたはこんな風に思っているんだね？”と鏡のように返し、確認する）

この聞き方からは、親が子どものありのままを受容し理解しようとしていることが伝わります。子どもは安心して話せるし、親によって言語化された自分の気持ちを見つめることもできるので、気持ちの整理や解決に向かって踏み出しやすくなります。

子どもがネガティブな思いを口にすると、私たち親は、つい、説教や提案をしたり、問題を横取りして解決したくなったりしますが、子どもの力を信じて「聞く」ことで、子ども自身が問題解決に向かうことをサポートできます。同時に、親は子どもをより深く理解していくようになります。

コラムニスト 静岡県人づくり推進員 兼  
親業訓練インストラクター 尾駒 眞理

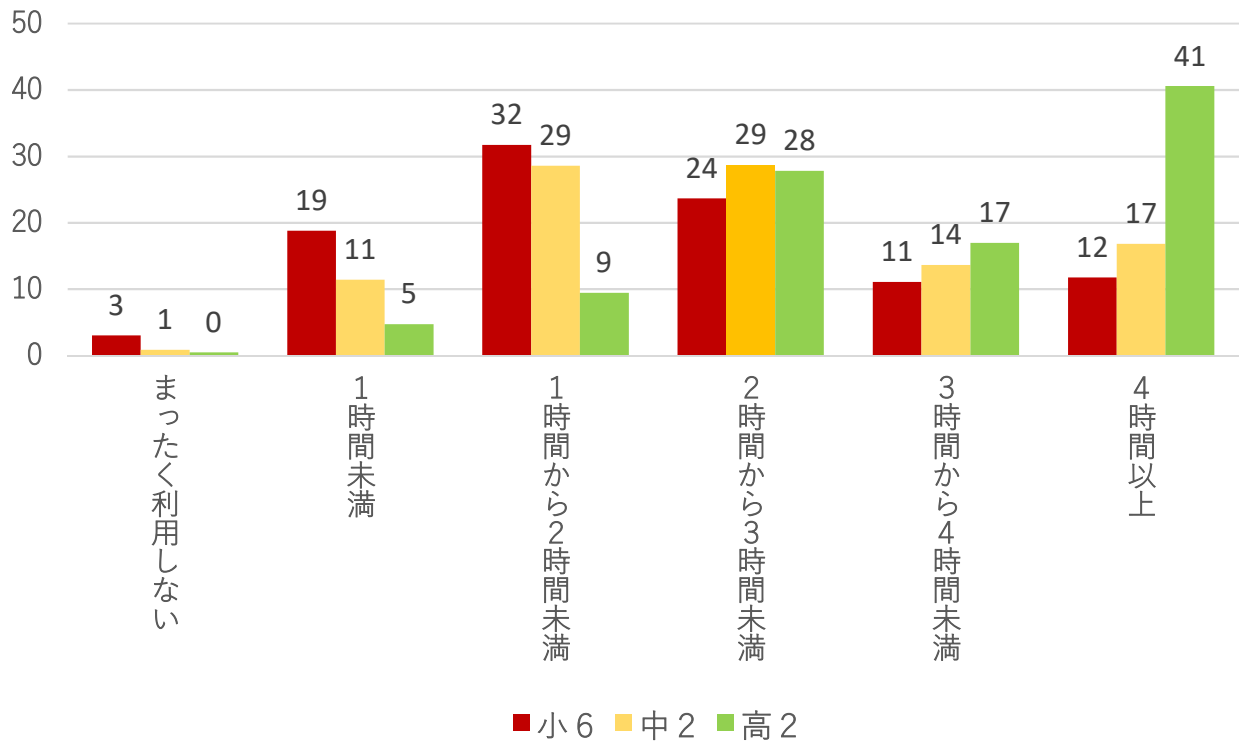
# 「富士宮市青少年のインターネットに関する実態調査」

例年6月に、富士宮市内の小学6年生、中学2年生、高校2年生（各学年1学級を抽出）を対象にインターネットの利用に関する実態調査を実施しています。一部の項目のみの掲載となりますが、ぜひ御覧ください。

令和4年度調査対象者：小学6年生 596人、中学2年生 595人、高校2年生 212名

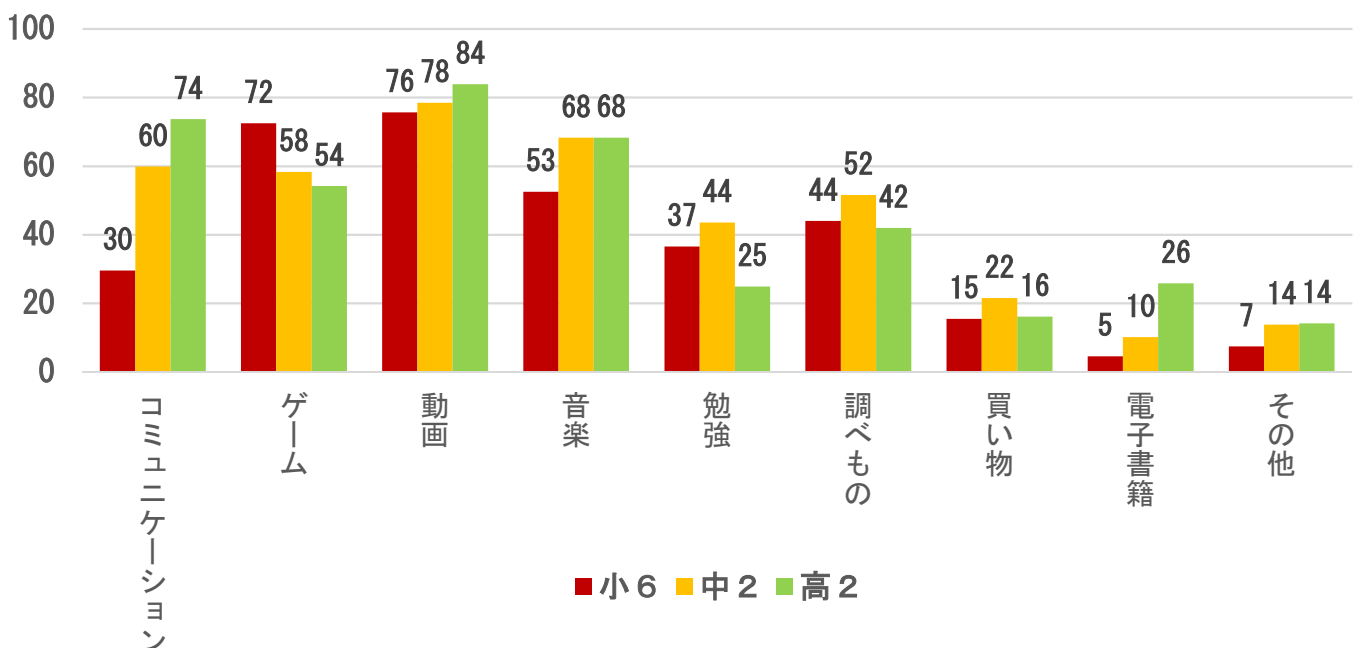
## 1 インターネットの利用時間(平日平均)について

(単位:%)



## 2 インターネットを利用して主にすること

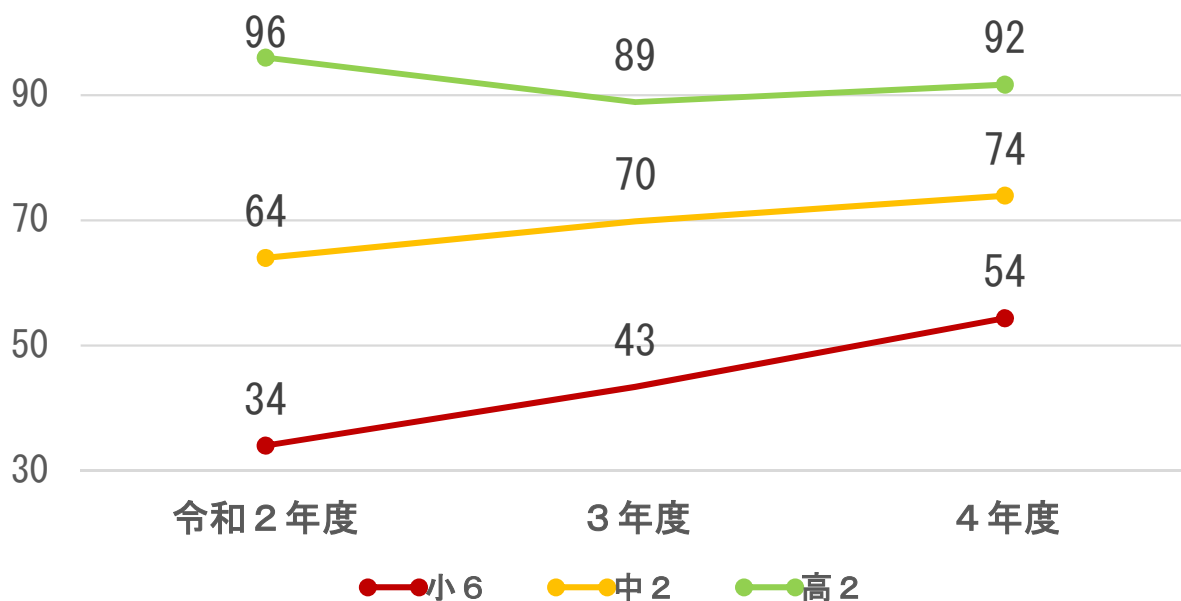
(単位:%)



※コミュニケーションとは、メール、ライン、SNS等の利用のことです。

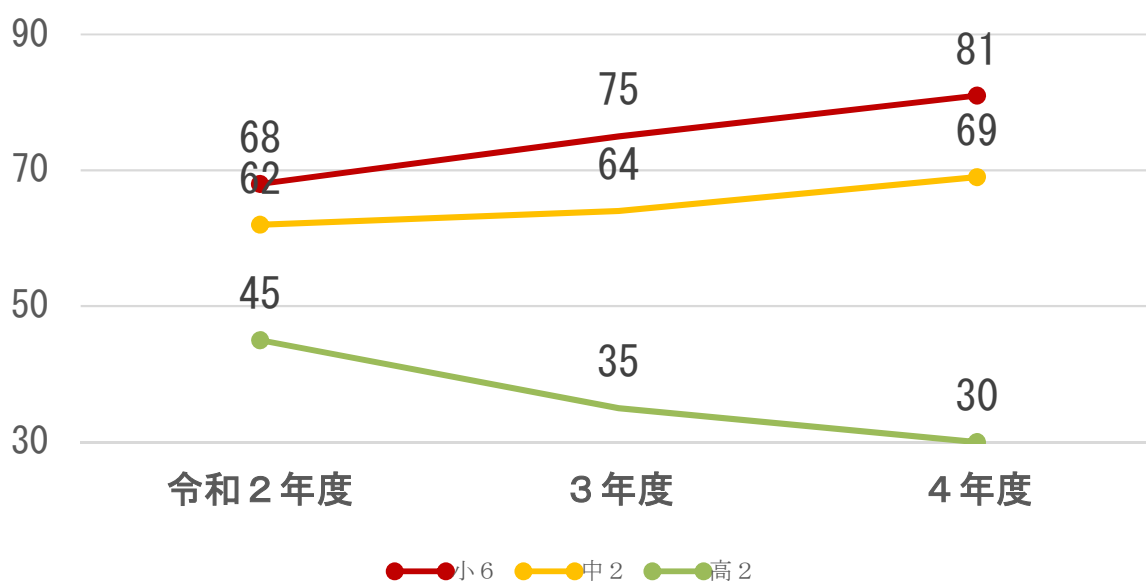
## スマートフォンの所持率の変化

(単位:%)



## 家庭で決めた「ルール（約束）」がある人の割合

(単位:%)



高校生段階になると、利用時間はかなり伸びる傾向にあるようです。「家庭で決めたルール（約束）がある人の割合」を見ても、高校生になったらスマートフォンの利用を子どもに任せる家庭が増えていることがうかがえます。

スマートフォンの所持率や利用する内容からは、ますます低年齢化は進み、利用の幅も広がっていることが分かります。

安全・安心に、そして、賢く利用できるよう、「ほっこりタイム」のコラムを参考に御家族で話し合ってみてください。



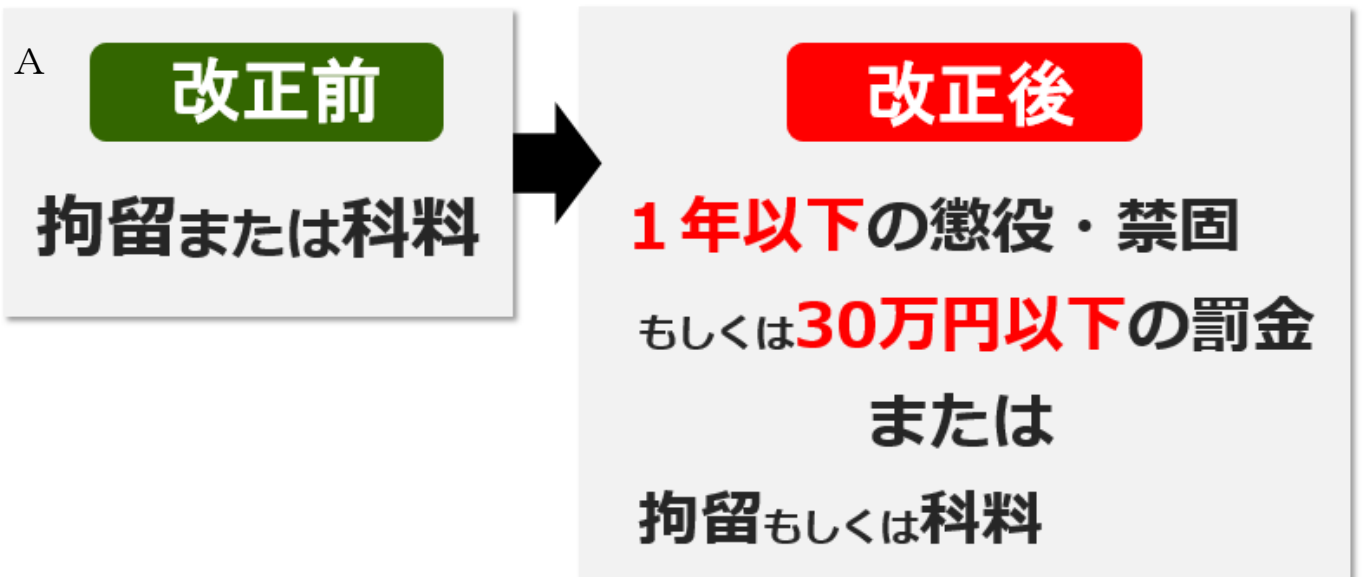
# 侮辱罪の法定刑が引き上がりました！

SNS等の利用により、ちょっとした冗談や、目立ちたい、そんな軽い気持ちの投稿から、人の名誉を傷つける行為が社会問題となっています。侮辱罪に係る規定が改正され、令和4年7月7日から施行されています。

Q1 侮辱罪とは、どのような罪ですか？

A 侮辱罪とは、事実を摘示<sup>てきし</sup>せずに、「公然と人を侮辱した」ことが要件になります。具体的には、事実を示さずに、不特定または、多数の人が認識できる状態で、他人に対する軽蔑の表示を行うと侮辱罪の要件に当たります。

Q2 法定刑の引上げはどのようなものですか？



- ※ 「拘留」とは、1日以上30日未満、刑事施設に拘置する刑です。
- ※ 「科料」は、1,000円以上1万円未満の金銭を支払う刑です。
- ※ これまでの侮辱罪の法定刑は、刑法の罪の中で最も軽いものでした。

詳しくは、法務省の「侮辱罪の法定刑の引上げQ&A」を御覧ください →



## 【お知らせ】

### 「春のあんしんネット・新学期一斉行動」について

内閣府をはじめとする関係省庁では、青少年が初めて自分のスマートフォン等を手にする時期でもある春の卒業・進学・入学の時期（令和5年2月～5月）に、特に重点を置き、啓発活動等の取組を展開しています。

